

4-2 産業大分類別就業者数と構成比推移(15歳以上)

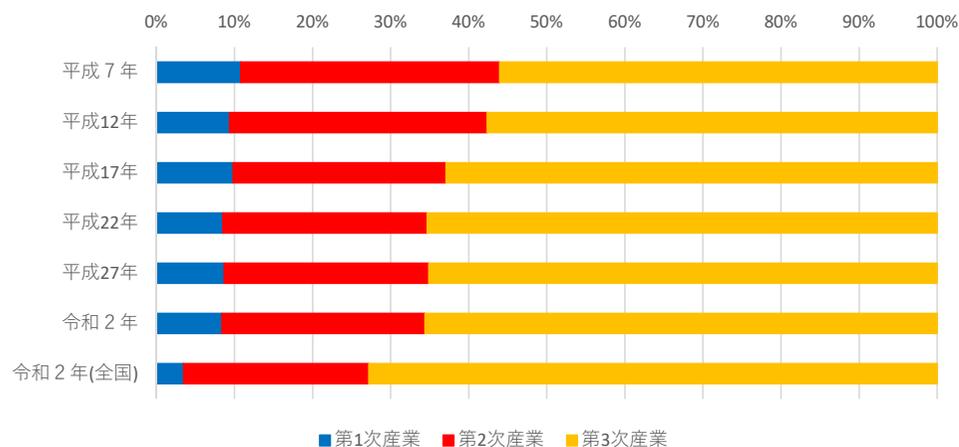
(人)

	総数	第1次産業		第2次産業		第3次産業	
		構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)		
平成7年	64,291	6,956	10.8	21,288	33.1	36,002	56.0
平成12年	62,588	5,874	9.4	20,660	33.0	36,040	57.6
平成17年	58,304	5,744	9.9	15,874	27.2	36,667	62.9
平成22年	53,269	4,407	8.3	13,487	25.3	33,688	63.2
平成27年	52,964	4,411	8.3	13,316	25.1	33,050	62.4
令和2年	50,286	4,205	8.4	12,962	25.8	32,744	65.1
令和2年(全国)	57,643,225	1,962,762	3.4	13,259,479	23.0	40,679,332	70.6

資料：国勢調査 基準日：各年10月1日

※総数について、分類不能の産業従事者を含んでいるため、合計が一致しない。

産業大分類別就業者構成比推移 (15歳以上)



産業大分類別の就業者数について、令和2年は、第1次産業4,205人 第2次産業12,962人 第3次産業32,744人（産業別の比率8：26：66）となっている。平成7年と比較すると、平成7年は、第1次産業6,956人 第2次産業21,288人 第3次産業36,002人（産業別の比率11：33：56）で、それぞれ2,751人、8,326人、3,258人減となっている。産業別の比率では、それぞれ3ポイント減、7ポイント減、10ポイント増となっている。